施工の現場から　産業用太陽光発電O＆M

エナジービジョン

代表取締役
奥山 恭之

第32回 ――しっかり管理したい「O&Mの設計図」

O&Mの大前提、完成図書の保管

完成図書の保管はO&Mの第一歩

先日、ある発電事業者から質問を受けた。

「今、太陽光発電所を作っている最中。施工店から完成図書の話は何も言われていないが、もらった方が良いのか？」。

これに対して「もらった方が良い、というより、もらわないとダメ」と回答した。

改正FIT法の遵守事項に、「適切なO&Mをやること」とあり、そのためには「完成図書は必須」だからだ。

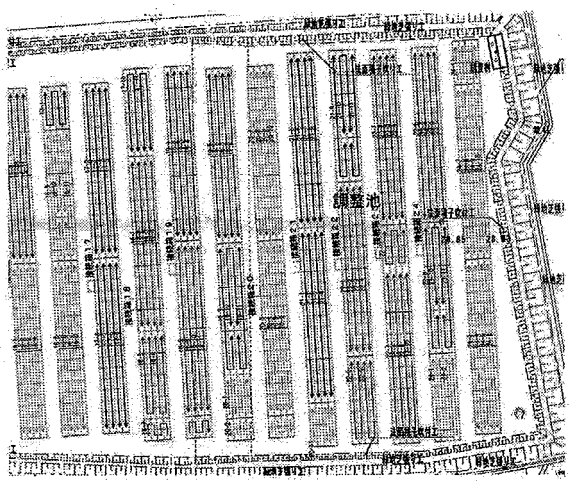
大切なことなので少し長めの引用をするが、事業計画策定ガイドラインで発電事業者がやるべきこととして、「発電設備の設計図書や竣工試験データを含む完成図書を作成するように努めること。

また、完成図書を事業終了時まで、適切な方法で管理及び保存するように努めること」と明記されている。

その解説文では、「太陽光発電設備の完工後、適切な設計・施工が行われたことを証するためには、完成図書として、設計図や施工記録、完成した設備の竣工試験データ等の書類一式が必要である。

これらの完成図書が作成されていない場合、事業の開始後に事故などが生じても、その原因を明らかにすることが困難となるおそれがある。

このため、完成図書を作成して、事業終了まで適切に管理・保管し、必要に応じて参照できるようにしておくことが重要である。なお、自ら設計・施工を行わない場合は、設計・施工事業者に対して、完成図書の作成を依頼することが適切である」と記されている。



▶完成図書の保管をしていない発電事業者は少なくない

完成図書＝設計図

例えば、テレビが壊れた時、その設計図なしに修理はできない、というのと一緒だ。

太陽光発電所はすべてカスタムメイドで、設計思想も千差万別だ。設計図なしに修理できる訳はない。

そうではあるが多くの発電事業者は完成図書の管理に無頓着なのも事実だ。特に低圧発電所では完成図書を保有していない方が普通と言ってもいいぐらいだろう。

施工店側の意識も非常に低く、渡すべきものと捉えていないところも少なくないが、本来は「完成図書の引渡しをもって、発電所の引渡し」とするべきだ。

太陽光発電所の完成図書一覧は以下の通り。手元に保管していなければ、今すぐに施工店に確認してほしい。

①パネル配置図（パネルレイアウト図）
②土木関連工事内容明記資料
③ストリング配線図（ストリングマップ、アレイ配線図）
④電気レイアウト図（単線結線図）
⑤架台構造図（強度計算等含む）
⑥パワーコンディショナー関連資料（取扱説明書含む）
⑦パネル関連資料（メーカー保証内容が分かるものを含む）
⑧契約書内容一式（瑕疵担保責任による補償内容明記のもの）
⑨法規関連申請・許可関連書類
⑩完成引渡し前検査報告書一式

ことば　完成図書

建設していた施設の工事完成時に、検査のために施工者が提出する書類。契約書、施工計画書、工事写真、完成図、台帳関係などを指す。